

# 文芸部会

## 概要

文芸部会では、毎年秋に「文芸部交流会」という大きな行事を開催しています。岐阜県下の文芸部員が一堂に会し、日頃の部活動の様子や創作の工夫、好きな作家・作品についてなど、様々な意見を交わします。また、あらかじめ出されていたテーマに沿って書いてきた自作品を、読み合い講評し合う形で作品交流も行っています。令和7年度のテーマは「手」でした。学校や学年の枠を越えて交流する時間は、終始和気藹々とした雰囲気になりました。さらに、講師を招いての講演会もあり、生徒にとって大きな刺激を受けられる貴重な機会となっています。令和7年度は金城学院大学の藤田祐史先生をお招きし、「宮沢賢治の詩を味わう」という題で講演会を開催しました。一人で向き合うことの多い「読書」や「創作」という活動が、この交流会を通じて「他者と共有する喜び」へと変わり、文芸部全体の連帯感が高まる有意義な機会となっています。



文芸交流会の後には、「岐阜県文芸コンクール」を行います。部誌・小説・詩・文芸評論・随筆・短歌・俳句の7部門にて審査を実施し、上位入賞者は次年度の全国文芸コンクールへ県代表として応募しています。さらに、部誌・小説・詩・短歌・俳句の5部門の優勝者は、次年度の全国高等学校総合文化祭の参加資格を得ることができます。

近年は、文芸部の廃部が相次ぎ、部会としては縮小傾向にあります。全国文芸コンクールで入賞する生徒がいたり、ぎふ総文の開催をきっかけに新たな部門に挑戦する生徒が増えたり、各校での活動は充実しています。これからも「言葉で様々な記憶や思いを紡ぎ人に伝える」ことを大切にしたいです。

## 令和8年度 年間事業計画

○岐阜県高校総合文化祭 △共催事業

月	日	事業内容	場所
4	下旬	第1回顧問代表者会議	恵那高校
7	28～ 8/1	全国総文祭(あきた総文 2026)	秋田市
8	中旬～ 下旬	全国文芸コンクール	
10	17	○第25回文芸部交流会 県文芸コンクール	ハートフルスクエア G
2	上旬	第2回顧問代表者会議	恵那高校